

## 1. 方針策定のねらい

- ・DX推進によって「市民サービスの向上」と「業務の効率化」を両立・実現する
- ・市一体となってDXを推進するため、「目指す姿」と「行動指針」を示す



## 3. 目指す姿

- ・DX推進により**実現を目指す姿**

### 目指す姿1

#### 便利な行政サービス

DXで暮らしを快適にする便利な行政サービス

### 目指す姿2

#### 効率的な行政運営

DXでもっとスムーズ・効率的な行政運営

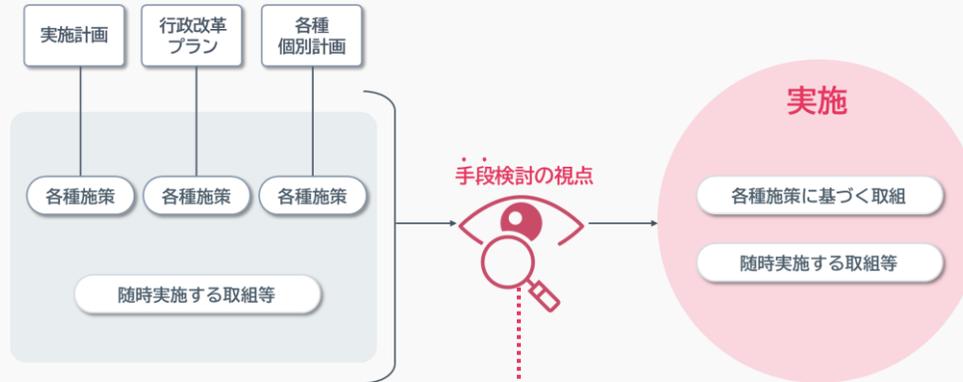
### 目指す姿3

#### デジタル社会の土台づくり

DXをみんなが豊かに使えるデジタル社会の土台づくり

## 2. 方針の位置づけ

- ・取組の実施にあたっての「手段検討の視点」
- ・「官民データ活用推進計画」としての位置付け



### 袖ヶ浦市DX推進方針

#### 目指す姿 1

#### 便利な行政サービス

#### 目指す姿 2

#### 効率的な行政運営

#### 目指す姿 3

#### デジタル社会の土台づくり

## 4. 行動指針

- ・実現に向けて**職員が意識すべきマインド**

### 行動指針1

#### 目的達成の手段としてのデジタル化

デジタル技術の導入自体を目的とせず、DXによって何を実現したいかを明確にする。

- サービス向上や業務効率化につなげられないか
- 無駄な作業や手順がないか
- 業務全体がスムーズに進むか

### 行動指針2

#### 利用者目線と行政コストの均衡

利用者の目線に立ったサービス設計と、投入する行政コストとのバランスをとる

- 市民や事業者にとって使いやすいか
- 職員の確認や操作の負担が増えすぎているか
- 費用対効果は十分に見込まれるか

### 行動指針3

#### 将来を見据えた計画的な推進

社会情勢の変化や将来的な行政運営の見通しを踏まえた継続的な施策の実現

- 先行投資や段階的導入が可能か
- 制度や技術の変化に柔軟に対応できる設計か
- 数年先も使いやすい仕組みになっているか

